

# もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

## 山岳・辺境文化セミナー2014

探検家 角幡唯介 講演会

### 北極圏をゆく

10月4日(土) 開場 12:30

講演 13:00~14:30

開始時間が1時間早くなりました

会場：広島市西区民文化センター内スタジオ

2,000 円 (高校生 500 円・中学生以下無料・広島県山

岳連盟加盟団体メンバー・個人会員は半額)



角幡唯介 (かくはた・ゆうすけ)

1976 年北海道生まれ。早稲田大学探検部OB。作家、探検家。チベットや北極圏の探検行をノンフィク

ション作品として本にまとめている。「空白の 5 マイル」で大宅荘一ノンフィクション賞、「アグルーカの行方」で講談社ノンフィクション賞、「雪男は向こうからやってきた」で新田次郎文学賞などを受賞。現在は太陽の昇らない極夜の北極圏を、六分儀を使った天測で旅をしている。

**研修会報告** 第3回 6月8日(日) 会場：天応

多くの山にチャレンジしたい

— クライミングを始めた理由

荻田 純代

6月8日、天応烏帽子岩山、本谷川の岩肌をマルチピッチで登った。前回までは岩面と格闘する印象が強かったが、今回は爽やかな木々に囲まれた小さな流れに沿って、軽やかに流れる水の音を聞きながらのクライミングだった。こうして自然の中でのクライミングは楽しく、何だか嬉しく思えた。

インストラクターの方3名に受講生4名。早速準備に取りかかる。マルチピッチの取付きまで、安全確保のためにロープ3本で全員が繋がり、緩やかな流れの横を遡上する。

リードのインストラクターの方は1本目のロープの最先端をハーネスにエイトノット、2人目(中間)はインラインエイトノット、3人目は1本目のロープの末端をエイトノット、2本目ロープの最先端もエイトノットで結ぶので、ハーネスにふたつのエイトノットが並んでいる形になる。それを3本目まで繰り返し、

7人目が最後尾になる。

間隔があまりにも長かったり短かったりすると歩き難いうえに、岩場で引っ張られることもあり危険なので、お互いの距離を考慮して結ぶ必要がある。前日までの雨で岩が滑りやすい。案の定、滑ってしまい靴が流れの中にどっぷりと浸かってしまった・・・。

このような形でのアプローチも初めてであり、また少しながら山の楽しみが増えたような気がする。そもそも私がクライミングを始めたきっかけが単に岩を登るためではなく、幅広くもっと多くの山にチャレンジしたいと遅咲きながら欲が出たのであって、教わるのが一つひとつ新鮮で楽しい。

マルチピッチ開始。リードのインストラクターの方に中間支点をとっていただきながら3ピッチを登るルートだが、それぞれの終了点で行う自己確保、フォローを確保する場合の地形を考慮に入れての確保位置も重要とのこと。作業性が良く、ロープが擦れない場所を選ぶ。続いて引き上げのための確保器のセットやロープの始末等、さまざまな条件下で素早く作業しなくてはならない。岩場で相手も見えないことがあったり、声も聞こえにくかったりすることもあり、ロープの引きや緩みで感覚を掴むのもなかなか難しい。

どうも自然の中でクライミングを楽しめるのはずっと先ようだ。しかしながら、クライミングを始めて以来、岩稜歩きや登山道にあるちょっとした岩場などが、怖気づくこともなく楽になったような気がする。確かに「クライミング効果」だと思う。これからも真摯に取り組み、場数を踏み、確実に一連の流れを理解し作業できるようになりたいと思っています。これからもご指導、よろしくお願いいたします。



写真はクライミング研修の一コマ

## フォト俳句⑭

雪を蹴るリズム乱れて日の出かな

俳句・写真 江種幸男 (福山山岳会)



## 岳連短信

### 1、山岳保険に加入下さい

盆休みの遭難状況報告。労山2名、福山山岳会1名、山岳保険に全員未加入でした。是非加入するように指導してください。(名越さんの遭難は、保険加入でカバーされました。)

### 2、アジア山岳連盟 (UAAA) とは

アジア山岳連盟は、アジア地域の山岳団体が構成された組織で、現在、13の地域の16の団体が加入しています。日本からは、広島県山岳連盟の上部(中央)組織である「日本山岳協会(日山協JMA)」と「日本勤労者山岳連盟(労山JWAF)」とが加入しています。

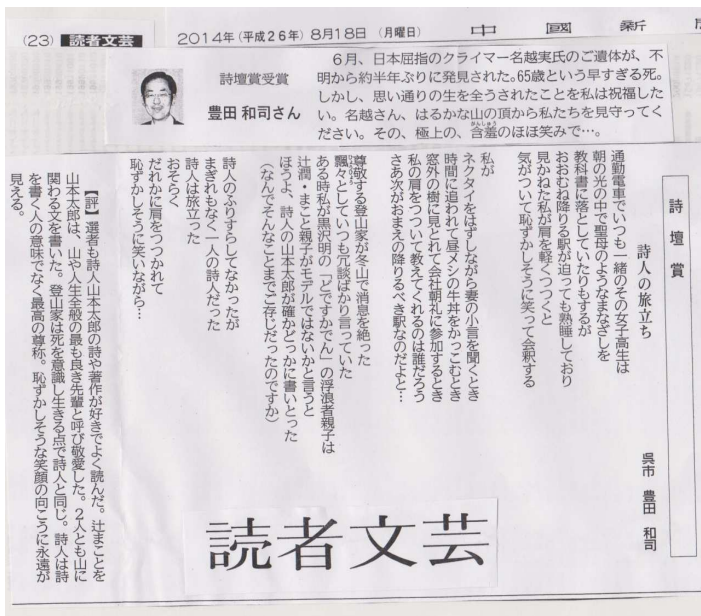
毎年1回の総会は、各国が持ち回りで開いており、今年の「総会」は広島で開催されます。また、「アジア山岳連盟」は、今年で創立20周年を迎えます。

日本では、過去に松本市で開催されたことがあります。日本で次の会議を開くなら、広島市で開催してほしいという要望が強く、2011年の総会(ネパール)で広島市での「総会」開催が全会一致で決まりました。

岳連短信

1、豊田和司事務局長、中国詩壇賞受賞

豊田和司岳連事務局長が中国新聞 (2014・8・18 付) の読者文芸の中国詩壇賞を受賞されました。思い通りの生を全うされた名越實氏を詩人に例えている。



2、受贈御礼

- 1 会報(福山山岳会)平成 26 年 9 月
- 2、筆影 会報 NO1414 2014・9 月号 (三原山の会)
- 3、JAC Hiroshima52 号 2014・7・1 (日本山岳会広島支部報)

3、可部連山ルートマップ

堂床山 可部冠山、小掛山、備前坊山のコースタイム・周回コース・草花等。  
A 4 両面、カラー 平成 23・9 可部山岳会

4、広島土砂災害義援金 10 万円

広島県山岳連盟は 9 月 10 日の運営会議で「広島土砂災害義援金」として 10 万円を寄付することを決めた。

5、平成 26 年度山岳レスキュー (無積雪期) 研修会

①趣旨：遭難事故現場に必要な登山者の救助技術の習得及び安全登山を推進するため指導者層を養成し指導員の拡大を図る。この研修会は指導員資格更新に必要な義務講習として申請しています。

②期日：平成 26 年 10 月 18 日 (土) ~19(日)

③場所・受付・宿泊： 18 日 (土) 広島県大竹市 三倉岳人口壁前 受付 17:00~ (テント泊) \*19 日 (日)のみの参加者は、三倉岳人口壁前受付 8:30~

④応募資格及び定員と都内容

- 1) 応募資格 山岳保険の加入者で次のいずれかに該当する方
  - ①広島県山岳連盟所属団体会員・個人会員及び一般
  - ②将来登山活動の技術指導的役割を担う者
  - ③一般登山技術をお持ちの方

- 2) 定員 20 名
- 3) ハイキングレスキュー

5、研修スタッフ (公財) 日本体育協会・(公社) 日本山岳協会公認の指導員及び山岳有識者  
6、研修日及び内容 別表 1 (講習内容に応じて変更となる場合があります。)

7、参加申し込み

!) 申し込み方法 別紙申込書により、郵送、FAX 又はメールにて申し込むこと。

2) 申し込み先 TEL・FAX 082-296-5597  
E-Mail : [hgakuren@lime.ocn.ne.jp](mailto:hgakuren@lime.ocn.ne.jp)  
〒733-0011 広島市西区横川町 2-4-17

一般社団法人 広島県山岳連盟 事務局

3) 申込締切

平成 26 年 10 月 10 日 (金) 必着のこと

8、その他留意事項

1) 参加費 広島県山岳連盟加盟団体会員個人会員



4,000 円 一般 6,000 円 学生 2,000 円

2) 参加費払込 参加当日

3) その他の費用

集合場所までの交通費は、参加者の負担とします。宿泊料 500 円 (小栗林集会所\*)

\*場合によりキャンプ場 (炊事棟) に変更する可能性があります。

4) 宿泊の方は、食料、寝袋、照明器具を持参ください。

5) 山岳保険 参加者は必ず山岳保険に加入していること。

6) 研修会持参用具 別表 2

### 別表 1 研修日程

**10・18(土)** 17:00 受付開始

17:30~19:30 研修会 (三角巾の使用法等)

19:30~夕食・情報交換 (食料・飲み物各自持参)

22:00 就眠

**10・19(日)** 8:30~9:00 受付 (三倉岳駐車場人口壁前)

9:00~15:00 研修会 応急手当、搬送他

### 別表 2 研修会持参備品

持参するもの	備考
夕食 (18 日) 朝食 (19 日) 行動食 (19 日)	* 1
救急用品 (三角布 2 枚、テーピングテープ 38mm 他)	* 2
ストック	4~5 人に 1 組
テープスリング 120cm×1 60cm×2 カラビナ②, 3 枚	* 3
ブルーシート又はレジャーシート	4~5 人に 1 枚
古い雨具	4~5 人に 1 枚
ツェルト	*3
筆記用具	

\* 1 19 日 (夕) 19 日 (朝) は宿泊者のみ

\* 2 三角筋をお持ちでない方は 1 枚 250 円にて頒布します。

\* 3 お持ちでない方は除きます。

「参加申込書」添付省略

### 10 月事業計画

10・4(土) 山岳辺境文化セミナー (西区民文化セミナ)

10・5(日) 第 7 回クライミングスクール (三倉岳)

10・8(水) 第 7 回運営委員会

10・10(金)~13(月) 岳連例会山行 (酒沢・長野県)

10・15(水) UAAA 会議・10 月末で申し込み締切

10・17(金)~19(日) 第 69 国体 (長崎県大村市)

10・18(土)~19(日) 平成 26 年度山岳レスキュー (無積雪期) 研修会

10・22(水) スカイラン実行委員会

10・24(金)~26(日) 中国高校登山大会 (三瓶山)

### 山の風景 45

宗箇山頂上 2014・3・15

写真提供 森 智昭 (ひこばえ)



### 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想・写真など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書を提出ください。随時掲載いたします。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美